

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 清水の里

目標達成計画書

作成日: 平成 23 年 09月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		今以上の充実した介護サービスを目指すための指針	法律が変わる度に、利用者の介護サービスの取り組み方や、職員の処遇に影響を及ぼし、長期的なグループホームの在り方を、策定出来ない現状を少しずつ改善していく。	グループホームの本来のあるべき姿と、看取り支援まで取り組まねばならない現実を見据え、ホーム独自の介護サービスを目指し、職員の質の向上と質の確保、意識の確立を目指していく。	12ヶ月
2		利用者や家族の高齢化による不安や悩みを、緩和するための支援	老老介護が急増し、悩みや心配事が多い家族の、良き相談相手として、心を開いたケアをしていく。	職員の技術力だけではなく、利用者の心の部分と、家族相談等が受けられる位の力をつけて、頼りになる職員の養成を実施していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。